



2014年8月22日

内閣総理大臣 安倍晋三 様
防衛大臣 小野寺五典 様

日本YWCA
会長 俣野尚子
総幹事 西原美香子

辺野古新基地建設のための海上作業強行に対する抗議声明

防衛省は8月14日、米軍普天間飛行場の移設先とされる名護市辺野古沖の埋め立て予定海域にブイとフロートを設置、17日には海底調査に着手しました。沖縄県民をはじめ多くの人々が新基地建設の中止を求める中、強行に工事を着工したことは暴力的で民意を踏みこむものであり、私たち日本YWCAは日本政府に対して強く抗議します。

辺野古では、SACO(沖縄に関する日米特別行動委員会)最終報告で「沖縄本島東海岸沖」代替基地移設が発表された1996年より毎日、新基地の建設に反対して人々が浜辺に座り込み、海にはカヌー、また海中ではダイバーたちが身を挺して抗議行動しています。非暴力によるこれら民衆の行動は、これまで軍事基地を沖縄に押し付けてきた沖縄県外の人々の心をも動かし、全国的な運動となって「軍事基地で平和はつくれぬ」という声を日米両政府に届けてきました。

しかしながら日本政府は、日米安全保障条約と日米地位協定という負の仕組みを維持しつづけ、沖縄の負担を軽減することなく、普天間基地の「移設」と称して、軍港付き新基地建設計画を民意を無視して推し進め、今回の工事着工を強行しました。

日本YWCAは、女性や子どもたちが安全で安心できる社会をつくり出すために、世界120か国のYWCAと連携して活動しています。軍事基地は、女性や子どもたちの安全と安心できる社会を破壊する存在です。そのことは、沖縄をはじめ世界各地の女性たちの証言からも明らかであり、歴史が証明しています。

軍事力で平和をつくり出すことはできません。日本YWCAは、海上作業強行に強く抗議し、辺野古新基地建設工事の即時中止を求めます。

日本YWCA 【駿河台オフィス】〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館302号室

TEL03-3292-6121 Fax03-3292-6122 office-japan@ywca.or.jp